

## 聖路加国際大学オープンアクセスポリシー実施要領

2020年3月11日承認

2021年2月10日改定

2023年5月18日改定

学術情報部運営会議

この要領は、「聖路加国際大学オープンアクセスポリシー」（2019年9月18日大学運営会議制定、以下「本ポリシー」という）の実施に必要な事項を定めるものです。

-----  
(趣旨)

- 1 聖路加国際大学（以下「本学」という）は、本学における研究成果を広く学内外に公開することにより、学術研究のさらなる発展に寄与すること、またその成果を社会に還元し、地域および国際社会の発展に貢献することを目的として、オープンアクセスに関するポリシー（以下「本ポリシー」という）を以下のように定める。
- 

### オープンアクセス

「オープンアクセス」とは、研究成果である論文等がインターネット上で公開され、経済的、技術的、法的な障壁なく誰でも自由に読めるようにすることです。オープンアクセスにより、情報アクセスの平等を実現し、さらに研究成果の共有と利用を進めることで社会への還元が期待できます。

オープンアクセスは国の政策として推進されており、公的な研究助成（科研費、JST、AMED等）においても、その成果をオープンアクセスにすることが求められています。

論文を広く世界へ公開することで、その著者にとって以下の利点があります。

- 論文が引用される可能性が向上
- 自分の論文をいつでも確認することが可能
- 分野を超えて交流できる可能性が向上

公開の手段として次の2つがあります。

- グリーン・オープンアクセス：所属する大学等の機関リポジトリにおいて無償で公開すること
- ゴールド・オープンアクセス：出版社や学協会等（以下「出版者」という）のウェブサイトオープンアクセス出版すること

「聖路加国際大学オープンアクセスポリシー」（以下「本ポリシー」という）は、「聖路加国際大学学術情報リポジトリ」（以下「リポジトリ」という）に研究成果を登録することによ

り、グリーン・オープンアクセスの実現を目指します。

---

(研究成果の公開)

- 2 本学は、本学に在籍する教職員（以下「教職員」という）による学術論文等の研究成果（以下「研究成果」という）を「聖路加国際大学学術情報リポジトリ」（以下「リポジトリ」という。）、または、その他研究成果の著者である教職員が選択する方法によって、公開する。リポジトリで公開する場合、研究成果の著作権は本学に移転しない。
- 

### **本ポリシーの対象**

本ポリシーの対象者は聖路加国際大学に在勤する常勤の教職員とし、対象とする研究成果は、商業出版社、学協会又は学内部局等が発行する学術雑誌や紀要に掲載された論文とします。

本ポリシーで対象としていない教職員（常勤の勤務先がない非常勤講師、有期雇用者、名誉教授）や、研究成果（科研費などの助成を受けた研究報告書、学会発表時の抄録等）についてもリポジトリへの登録が可能です。詳細は「聖路加国際大学学術情報リポジトリ細則」をご参照ください。

リポジトリでの公開を希望し登録申請をする方（以下「登録申請者」という）は、研究成果に「学術情報リポジトリ登録申請書（研究成果）」を付して、リポジトリ担当者（学術情報部）へ提供してください（「研究成果の提供方法」は後述）。

なお、リポジトリに登録されたデータは、登録申請者が退職等により本学に在籍しなくなった場合も引き続き保存、公開されます。

### **本学リポジトリ以外の選択**

その他、研究成果の著者である教職員が選択する方法とは、オープンアクセスジャーナルへの掲載による公開（ゴールド・オープンアクセス）、他機関における機関リポジトリでの公開を指します。

### **著作権**

「聖路加国際大学学術情報リポジトリ細則」第13条にあるとおり、著作権は、本学に移転されることなく、著作権者に留保されます。

---

(適用の例外)

- 3 リポジトリでの公開が著作権等のやむを得ない理由で不適切である場合、本学は当該研究成果を公開しない。
-

## リポジトリでの公開が不適切な場合

やむを得ない理由の具体例には以下のようなものがあります。

- 著作権に関連した許諾が得られず公開できない
  - ・ 出版者の許諾が得られない
  - ・ 共著者の同意が得られない
- オープンアクセスジャーナルで公開しており、それと異なる版の公開を差し控えた
- 他者の権利を侵害する内容が含まれていることが判明した
- データ改ざん等の研究不正が判明した

## 公開しない場合の手続き

研究成果を非公開とする必要があると教職員が判断した場合、その理由を付して申請できます。ただし、出版者がリポジトリでの公開を許諾していないことをリポジトリ担当者が確認した場合は、非公開申請の手続きを代行いたします。

非公開の手続きは以下のとおりとします。

- 教職員が判断した場合

本学教職員ポータル上にある学術情報部のページより「学術情報リポジトリ非公開申請書」をダウンロードして記入し提出してください。学術情報部運営会議で決定後、非公開の処理を行います。

- リポジトリ担当者が確認した場合

学術情報部運営会議で決定後、非公開の処理を行います。

-----  
(適用の不遡及)

- 4 本ポリシー施行前に出版された研究成果や、本ポリシーの施行前に本方針と相反する内容の契約を締結した研究成果には、本ポリシーは適用されない。
- 

## 適用の不遡及

本ポリシー施行前に発表された研究成果は、本ポリシーをさかのぼっての適用は行いません。ただし、登録申請者の希望を妨げるものではありません。

-----  
(リポジトリへの登録等)

- 5 教職員は、できるだけすみやかに、リポジトリ登録が許諾される著者最終稿等の適切な版を本学に無償で提供する。研究成果のリポジトリへの登録等に関する事項は、「聖路加国際大学学術情報リポジトリ細則」に基づき取り扱う。

---

## 研究成果の提供方法

本ポリシーで対象とする研究成果については、定期的に（年1回程度）、Researchmap（データベース型研究者総覧）をもとに、リポジトリ担当者より登録申請の手続きを個別に依頼いたします。ただし、登録申請の手続きは、教職員より自主的に、投稿論文が出版者に採択（accept）されるなど、研究成果の出版が決まり次第、随時、行うことができます。

登録申請者は、研究成果のリポジトリ登録が許諾される適切な版（PDF等のデータ、あるいは紙原稿）に、「学術情報リポジトリ登録申請書（研究成果）」を付して、リポジトリ担当者に提出してください。提出方法には電子メール、あるいは直接持参があります。

資料の散逸等を防ぐため、研究成果はできるだけ速やかに提出してください。出版者により公開禁止（エンバーゴ）期間が定められている場合には、リポジトリ担当者にて指定した日まで公開を保留する措置をとります。

## リポジトリ登録が許諾される適切な版

リポジトリへの登録が許諾される版は、掲載誌によって異なります。

- 著者版が公開可能な場合

登録申請者は該当する適切な原稿をリポジトリ担当者に提出してください。

著者版は、ここでは掲載誌へ投稿したときの初稿、つまり査読前の原稿から、査読が終了し採択（accept）されたときの原稿である著者最終稿までを指します。一般的に、出版者による最終校正やレイアウト調整等の手が加えられていないものです。

- 出版者版が公開可能な場合

登録申請者がリポジトリ担当者に出版者版を提出するか、リポジトリ担当者が出版者から入手します。

提出する研究成果は、PDF、Microsoft Word 等、電子データでの提出が推奨されますが、現物や複写物等の紙原稿での提出も可能です。

## 著作権者の同意・許諾

研究成果をリポジトリで登録するためには、その投稿論文等の著作権者から複製および公衆送信に関する許諾を得る必要があります。登録申請者は、掲載誌の投稿規程等により著作権の帰属先、つまり著作権者を確認します。著作権者が誰であるかに応じて以下のことを行います。

- 共著者の同意（登録申請者）

著作権者が著者であり、共著論文の場合、登録申請者は、リポジトリの公開について、必ず共著者全員の同意を得る必要があります。「聖路加国際大学学術情報リポジトリ登録許諾書」をお送りください。

著作権が出版者に譲渡されている場合は、共著者への確認は義務ではありませんが、責任著者（corresponding author）の了解を得ておくことが望ましいです。

- 出版者の許諾（リポジトリ担当者）

出版者が著作権者である場合、リポジトリ担当者は、「リポジトリでの公開可否」「公開可能な版」「公開禁止（エンバーゴ）期間」「出版者版へのリンクや著作権表示などの必要条件」など、出版者の公開ポリシーを確認します。

その際、リポジトリ担当者は登録申請者に、出版者の連絡先の提示、著作権譲渡書の提出等の協力を求めることがあります。

### リポジトリへの登録

リポジトリ担当者は、リポジトリへの登録にあたり、以下の業務を行います。

- 書誌データの入力
- 必要に応じて電子ファイルの PDF 化
- 必要に応じて紙原稿の電子化

---

（その他）

- 6 本ポリシーに定めるもののほか、オープンアクセスに関し必要な事項は、関係者間で協議して定める。
- 

本ポリシーの実施に際し必要な事項は、この要領に定めています。なお、要領の内容は、今後、学内関連部署や出版者との調整により変更される場合があります。